

四人展

2014年
12月4日(木)~9日(火)
AM11:00-PM7:00
(最終日はPM4:00迄)

大河内 仙嶽 (書) 木村 光佑 (版画) 武石 和春 (漆芸) 藤川 耕太郎 (洋画)



大河内 仙嶽 (書)



日展会員
日本書芸院顧問
読売書法会参事
興朋会副会長

木村 光佑 (版画)



京都市立美術大学(現・芸大)卒 日本・英国・韓国・ルウエー・アメリカ・ポーランド・旧ユーゴ等の国際美術大賞など
大阪市・京都市・京都市・茨木市等文化功労賞
1996 紺綬褒章
1999 紫綬褒章
2012 瑞宝中綬章
京都工芸繊維大学名誉教授(元・学長)

武石 和春 (漆芸)

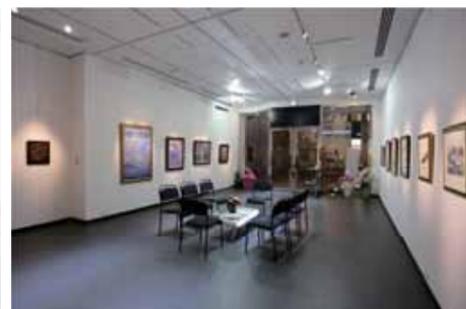


1971 日展初入選
1981 日展会友推挙
1993 大阪府工芸功労者表彰(2002大阪府知事表彰)
1997 第36回日本現代工芸美術展審査員・NHK会長賞
茨木市役所南館壁画 漆芸「爽眺」
2004 茨木市生涯学習センター壁画 漆芸「街の詩」

藤川 耕太郎 (洋画)



1983 茨木美術協会会員
1990 日洋会会員
1991 茨木美術協会常任理事
1995 茨木美術協会副会長
2001 ライン会展でライン大賞
2003 日展会友・日洋会委員



今回は、大河内仙嶽さん、木村光佑さん、武石和春さん、藤川耕太郎さんの4人によるグループ展です。それぞれ書、版画、漆芸、洋画と様々な分野の作品が並びました。

大河内さんは、書道で文字や詞などを書き、禅の世界を表現されています。筆の流れや墨の掠れ具合、文字の間や意味などからは様々なものを感じることが出来、見ているとどこかほっと落ち着くような味わい深い作品となっています。

木村さんは、シルクスクリーンなどの独自の版画技法を用いて作品を制作されています。今回は様々な鳥をモチーフに、精密で美しいものからデザイン的で印象に残るものまでバリエーション豊かに並びました。どの作品も色合いや線の美しさが際立ち、細部までこだわりを持って制作されていることが分かります。

武石さんは、漆を用いてデザイン的な漆画を描かれています。黒く塗られた背景に赤や朱色といった鮮やかな色が良く映え、漆特有の滑らかに光る表情が艶やかさと高級感を与えています。日本の伝統とモダンな雰囲気をも併せ持つ作品です。

藤川さんは、油画とアクリルガッシュを用いて主に海と浮かぶ船をモチーフに描かれています。青い紫にかけての色をメインに、海に映る光の表情を細かいタッチで表現した作品はとても爽やかで優しい印象です。

作品は全て壁に掛ける形で展示され、スッキリと並びつつも、それぞれの作品の特徴と魅力が引き立つものになりました。これまで独自の制作を続けてこられた作家4人の力作が並ぶ大変見応えのある展覧会でした。